

令和3年度 佐賀大学大学院学校教育学研究科運営協議会議事要旨

日 時 令和3年 5月11日(火) 第1部 13:00～14:02
第2部 14:07～15:07

場 所 WEB会議システムによる会議

出席者 大井手佐賀県教育庁副教育長，井原佐賀県教育庁教職員課長，江口佐賀県教育庁学校教育課長，上赤佐賀県教育庁教育振興課長，米倉佐賀市教育委員会学校教育課長(教育長代理)，栗原唐津市教育委員会教育長，天野鳥栖市教育委員会教育長，松尾武雄市教育委員会教育長，青木佐賀県高等学校長協会会長，田中西九州大学子ども学科長(学部長代理)

【11名】

板橋，平田，岡，松尾，荻野，小松原，米田，下田，堤，中島，井邑，中尾，中西，森，高柳

【15名】

欠席者 宮崎佐賀県小中学校校長会会長

【1名】

列席者 浦川，木下勝，木下早

議 事

議事に先立ち板橋研究科長から挨拶があり，次いで出席者の自己紹介があった。

【第1部】

1. 令和元年度及び令和2年度の運営状況について

先ず，荻野准教授から，資料2-1、2-2により，運営状況及び教育課程、修了・就職状況について報告があった。

次に，井邑准教授から，資料2-3により，県との連携・協力事業関係について報告があった。

次に，下田准教授から，資料2-4により，研究科の入試・広報について報告があった。

次に，荻野准教授から，資料3により，大学院生名簿について説明があった。

次に，研究科長から，これまでの説明を踏まえた質問・意見の発言要請があり，大要以下のような意見交換があった。

①現職の特別支援教育の設置枠について、高い需要があるため、今後も佐賀県と協議を重ねながら、対応していきたい。

②サテライトキャンパスでの教員研修講座は、現職教員にとってはとてもいい機会となっており、大学側としても教員の学びの機会については、今後も計画していきたい。

③コロナ禍において対面での研修等が難しいため、WEB会議形式での研修を推進していただき、地域貢献の機会を増やしていただきたい。

④GIGAスクール構想及び特別支援教育の推進など、学校が抱えている課題解決に向けても協力をお願いしたい。

⑤特別支援教育の研修の在り方について、内容の充実を検討する段階であり、現場のニーズを踏まえた実践教育から見えてくるものを確認しながら検討していきたい。

⑥現職教員の研修の場として、今後も現場のニーズに応えられるよう指導をしてほしい。

【第2部】

1. 学生による成果発表

次の3名による成果発表があった。

① 古閑 美鈴 [授業実践探究コース 2年] (14:07~14:25)

『対話的な学びの実現を目指す小学校体育授業の開発—二人称的アプローチに着目して—』

② 大古場 絵美 [子ども支援探究コース 2年] (14:25~14:40)

『肢体不自由児のQOLの確保及び維持・向上を目指した自立活動の指導』

③ 山田 英美 [教育経営探究コース 2年] (14:40~14:43)

『防災教育に関するカリキュラム・マネジメントを行うための教職員の協働体制づくり—総合的な学習の時間を基軸にした防災教育の取組と校内研修の活用を通して—』

2. 質疑応答 (14:43~15:07)

平田副研究科長の司会のもと進行され、発表者3名に対する質問・意見等があり、それぞれ発表者からの応答があった。